

(1) 2000年(平成12年) 4月28日(金曜日)

対馬新聞 第3235号

(昭和20年11月20日第3種郵便物認可)



長崎県下県郡厳原町日吉
 合資会社 対馬新聞社
 郵便番号 817-0012
 電話 09205②0235
 FAX専用 09205②7580
 発行人 明石雅操
 毎週金曜日発行
 印刷／(資) 厳原印刷所
 購読料 1ヵ月1,000円
 振替口座 01750-4-33895
 十八銀行対馬支店 ⑧ 10040
 親和銀行対馬支店 ⑧ 24600

郷土一の銘酒

白紋
 白紋
 白紋

美津島町
 河内酒造会社

日韓トンネルプロジェクト研究会

対馬のムードづくりを要望 東京本部の常任理事ら来島

佐賀県唐津市から屯
 岐―対馬―韓国を結ぶ
 国際ハイウェイプロジ
 エクト『日韓トンネル
 研究会』本部・東京
 都港区麻布台Ⅱの山岡
 建雄常任理事と稲田昭
 俊事務局長が二十一日
 午前、対馬新聞社を訪
 れ、同トンネル構想に
 ついて対馬島民の理解
 を求めて帰任した。

同研究会は福岡市中
 央区警固に九州支部が
 あり、二十日に第三十
 回理事会を開催した。
 対馬では同研究会対馬
 支部参与に古藤恒彦県
 議のほか六町長が名を
 連ねているほか、故前
 対馬新聞社長三山忠氏

が永年理事(対馬地区
 会長)をしていたが現
 在空席。山岡理事と稲
 田事務局長は『空席の
 対馬地区理事の後任人
 材の推薦(役員補充)
 と同トンネル構想につ
 いて対馬でのムードづ
 くりへの支援をお願い
 したい』と話した。

同支部の第三十回理
 事会(四月二十日、福
 岡市で開催)資料によ
 れば、平成十一年度事
 業の経過中間報告とし
 て、平成十年から、韓
 国側の各種団体から同
 計画に対する問い合わせ
 が急増、特に経済問
 題(効果など)建設資
 金(建設額など)走体

問題(鉄道・自動車な
 ど)に対する質問が集
 中しているという。こ
 うしたこと背景から
 韓国国際ハイウェイ研
 究会の伊世元会長が来
 日、韓国放送公社(K
 BS)による佐賀県鎮
 西町名護屋地域の取材
 も行われた。

対馬でも説明・ 勉強会開催を

日韓トンネル研究会
 の平成十二年度事業計
 画案によれば平成十一
 年度に続き青函トンネ
 ル、スエズ、パナマ両
 運河などについてのソ
 フト、ハード両面から

そのプロジェクトが実
 現に至る過程の検討、
 国会議員や関連地域で
 ある福岡、長崎、佐賀
 三県の県、市、町議ら、
 さらに全国の財界人な
 どの随時勉強会を実施、
 同トンネル計画の啓蒙
 に力を入れるという。

稲田事務局長は『対
 馬は韓国に最も近く関
 連深い島。同トンネル
 構想は実現までに長期
 を要するが対馬でのム
 ードづくりのため積極
 的に同構想に参加して
 戴ける空席の理事(対
 馬の世話役)の推薦な
 どをお願いしたい、九
 州支部は年二回福岡市
 で会議を開いており、
 同会議に参加できる人
 材を求めている。対馬
 地区での勉強会や説明
 会もご希望があれば開
 催したいと話している。